



郵政産業ユニオン TOKYO

● 発行 ●
 郵政産業労働者ユニオン
 東京地方本部
 発行責任者 鶴島 一広
 〒104-0031 中央区京橋 3-6-3
 京橋通郵便局 5F
 TEL・FAX 03-3535-5447
 piwutokyo@yahoo.co.jp

春闘は山場 ストライキ背景に交渉展開 地本も支社に要求書提出



13春闘も山場を迎えました。東京地本は、2月のキャラバン宣伝行動をかわきりに、2月19日には東京支社に対し35項目の春闘要求書を提出。回答指定日を13日に指定し交渉を展開します。

2月に行われたストライキ権批准一票投票は、労働者の生活苦と劣悪な労働条件を反映して全国79・3%の高率でストライキ権を確立し、ストライキを背景に交渉が行われています。提出した要求は以下の通りです。(要旨)

労働契約法にてらし

格差解消を!

期間雇用社員の正社員化は、月給制社員からの登用のみとなり正社員化の道が大きく後退するなかで、今年度の正社員登用数、時給制から月給制社員の登用数を求め、来年度の登用計画数を求めています。

また、改正労働契約法が正社員との差別を禁じていることから年次有給休暇の完

を越えている違法状態もあります。

要求は、各職場で大幅な増員を行うこと。実施に当たっては正社員で採用する事を求めています。

全取得を補償するよう各局を指導するよう求めました。さらに、スキル評価にあたり評価基準を遵守し、不当な賃下げを行わないことを求めています。

増員・ただ働き解消・勤務時間

勤務時間

どこの局でも営業問題が深刻です。年賀ハガキに施策ゆうパック、切手・レターセットの携行販売と年中目標を持たされ、毎朝「ゼロはだめです」と強要まがいの追求で自爆営業が続いています。上司が社員に対し買い取らざるをへない状況を与える言動や実需のない買い取りなど不公正な営業禁止の指導を徹底するよう求めています。

正規・非正規社員を問わず、退職者のあと補充がなく超勤を前提とした業務運行で超勤が常態化し36協定

管理者教育の徹底

社屋清掃の徹底を!

パワハラやセクハラが多く、資質にかける管理者もいるなかで、管理者に対し指導・教育を徹底し、パワハラ・セクハラを根絶を求めています。

経費削減が清掃費用の削減となり、社屋の清掃が行き届かなくゴミの山となっています。シャワー室にはカビが生えるなど衛生面でも改善要求を出しました。

春闘山場を向かえ、賃金引上げなどの要求とあわせ、これらの要求実現に向けてストライキを背景に交渉を展開します。

東日付印
 京
 総務省が発表した2012年平均の労働力調査によると、雇用者に

占める非正規雇用労働者の割合は35%と、1984年の調査開始以来、最も高い割合となりました。男女別に見ると、男性は0・2ポイント低下し19・7%、女性は0・1ポイント上昇し、54・5%となりました。雇用総数は5154万人と、前年に比べ9万人減少しています。このうち、正規雇用労働者は12万人減の3340万人。非正規労働者は2万人増の1813万人と、調査開始以来最多となっています。パート・アルバイトは12万人増の1241万人となりました。失業期間が1年以上の完全失業者は107万人に達しています。年間収入が200万円未満の雇用者は1782万人で、このうち非正規労働者が1369万人と、77%を占めています。安倍政権は、2%の物価上昇を無理やり作りだそうとしています。賃金が上がらないまま物価だけ上昇し、その後の消費税増税では、労働者の生活は苦しくなる一方です。

(定)

賃上げは可能だ!

13春闘・学習決起集会

2月24日、東京地本主催による「13春闘学習決起集会」が、北区の岸町ふれあい館で開催されました。

主催者を代表してあいさつにたった鶴島地本委員長は、安倍政権がすすめる「アベノミックス」では労働者の生活向上に結びつかず、国の借金が増えるこれまでの悪政の繰り返しだと指摘、ストライキの高批准を背景に今春闘での賃上げや非正規問題の要求実現をめざし、たたかう体制を整えようと訴えました。続いて、学習講演に先立ち中央本部兼子交渉部長が今春闘の交渉経過を報告。賃上げ可能な客観的事実で賃金交渉を重ねると共に、「新人事・給与制度」や要員不足の実態と輸送労働者の待遇改善など、労働者をまもる視点で交渉に臨む決意が報告され学習会の第一部はJMIU(全日本金属情報機器労働組合)日本IBM支

ます。

日本郵便が提案する「新人事・給与制度」も、組合要求に譲歩してでもとにかく導入させたい会社の思惑が、ロックアウト解雇と重なってきます。また、解雇理由に服装の指摘もあつたとの報告に、現在一部の郵



便局で行われている服装検査とダブリ、決して軽視出来ないなど聞き入りました。

休憩をはさみ第2部の講演は「許すな!憲法改悪・市民連合」の高田健さん。先の衆院選や都知事選の結果に触れ、平和への希求や反原発の民意と必ずしも一致しない選挙結果の中で、今夏の参院選は憲法改悪を許さない重要な意味をもっていることと、今問題となっている領土問題や周辺諸国との緊張をナショナルリズムと結びつけること無く、国際的に市民運動が連携する大切さを訴えます。

講演の後5支部から13春闘への決意表明を受け、集会アッピールを参加者全員で確認しシュプレヒコール、春闘要求実現にむけ前進を誓い合いました。

当面の行動日程



3月1日 正社員化を求め
る本社前集会
3月3日 マーチインマー
チ2013

3月5日 国民春闘中央行
動

3月9日 つなごろうフク
シマ! さよな
ら原発大集会

3月10日 原発ゼロ大行
動

3月11日 つなごろうフ
クシマ! さよ
なら原発講演
会

3月14日 国民春闘統一
行動

3月13日 回答指定日

3月14日 国民春闘共闘
統一行動日

3月23日 原発のない福
島を! 県民大
集会

震災ボランティア

福島・南相馬レポート②

練馬支部・吉沢利夫

ボランティア一日目の作業は泥出しとガレキ撤去と思っていました。放射能によって家を片付けることができなくなっていることから被災者からの要望がその日はありませんでした。そのために仮設住宅に住む被災者に救援物資のお米等を届けながら行政への要望を訊ねる行動でした。福島県だけで16万人が避難生活をしており、その中の一部の人とはいえ直接の声を聞くことができました。仮

てない「漁師をやっていたが船にかけた2000万円の全財産が津波でもっていかれた」「ここに変る代替の土地を早く市は用意してほしい」等です。(つづく)

